**おおさかＱネット「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及啓発」**

**に関するアンケート　分析結果概要**

■実施期間　平成29年8月4日（金）～8月8日（火）

■サンプル数　過去5年以内に新築一戸建て住宅を購入した人　300サンプル

　　　　　　　今後新築一戸建て住宅の購入を検討している人　700サンプル

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪府民　計　1,000サンプル



■分析結果の概要

1.　調査目的

　大阪府はこれまで、太陽光発電システム製造者、施工店及び販売店と連携し、府民が安心して既存の住宅の屋根に太陽光パネルを設置できるような仕組づくり、及び太陽電池発電設備の普及促進に努めてきた。近年、既存の住宅での太陽電池発電設備の設置件数の伸びが鈍化する一方で、新築住宅での設置件数が増加しているという背景から、住宅の省エネルギー化と太陽光発電等によるエネルギーの創出により年間に消費するエネルギー量を正味で概ねゼロ以下とした「ZEH（ゼッチ：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」の普及啓発に尽力することにより、さらなる太陽光パネルの設置促進につなげていく方針を立てている。

　しかしながら、大阪府の新築住宅に占めるZEH普及率は近畿の他府県に比べ劣ることから、本調査によりZEHの認知度や理解度、ZEH導入におけるネック等を把握し、今後のZEHの普及啓発の計画方針に反映させたい。

2.　主な調査（検証）項目

1. 新築住宅を建てたい（建てた）地域により、ZEHの認知度に差がある
2. 新築住宅を建てたい（建てた）地域により、省エネ設備及びZEHの導入・検討状況に差があり、またネックとなるものについても違いが見られる
3. ZEHの導入にあたり、そのメリットや効果への理解度により、導入・検討状況に差がある

3.　主な調査結果

1. 豊能地域、泉北地域での住宅購入層は、三島地域、中河内地域での住宅購入層に比べ、ZEHについて認知している割合が高かった。また全体として、住宅の購入地域が決まっている層の方が、未定の層に比べ、ZEHの認知度や省エネ設備の導入・検討度合が高い傾向にあることが分かった。
2. **（高断熱化工事）**泉南地域での住宅購入層は、大阪市内、三島地域での住宅購入層に　　　　　　　　比べ、高断熱化工事を導入済・現在検討中である割合が高かった。
**（太陽光パネル）**泉南地域での住宅購入層は、大阪市内、三島地域、北河内地域での住宅購入層に比べ、太陽光パネルの設置を検討したことのある割合が高かった。大阪4地域で見ても、南部大阪地域（南河内地域、泉北地域、泉南地域）は、他の地域と比べ、太陽光パネルを導入・検討している人の割合が高い傾向にあることが分かった。
**（ZEH）**大阪市内、三島地域での住宅購入層は、南河内地域での住宅購入層に比べ、ZEHを検討したことのある割合は高かったが、導入済、または現在も検討中かどうかという観点では、地域での差は見られなかった。
3. ZEH導入のメリットについて認知している層の方が、またその中でも、より具体的に理解している層の方が、ZEHを導入済・現在検討中、及び検討したことのある人の割合が高かった。

（注）

1.　「おおさかＱネット」の回答者は、民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「単純集計（参考）」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。

2.　割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

3.　図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

4.　図表中の上段の数値は人数（n）、下段の数値は割合（％）を示す。

5.　図表下にカイ2乗検定の値（p値）を記載しているものは、信頼度5％水準で統計上の有意差がみられたもの。

6.　複数回答のクロス集計については、カイ2乗検定を行っていない。

**1.　住宅の購入（予定）地域とZEHの認知度の関係性**

住宅の購入（予定）地域について、大阪府域を以下の地域に区分し、ZEHの認知度に地域毎の差があるのかを検証する。

（大阪8地域）

　・大阪市内

　・豊能地域（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）

　・三島地域（吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町）

　・北河内地域（守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市）

　・中河内地域（八尾市、柏原市、東大阪市）

　・南河内地域（富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、

太子町、河南町、千早赤阪村）

　・泉北地域（堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町）

　・泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）

（大阪4地域）

・大阪市域（大阪市内）

・北部大阪地域（豊能地域、三島地域）

・東部大阪地域（北河内地域、中河内地域）

・南部大阪地域（南河内地域、泉北地域、泉南地域）

　ZEHの認知度に関する質問に対し、「知っている」「聞いたことがある」と回答した人を【認知層】、「知らない」と回答した人を【非認知層】とした。

* 地域別では、豊能地域、泉北地域での住宅購入層の方が、三島地域、中河内地域での住宅購入層に比べて、ZEHについて【認知層】の割合が高かった。
* 住宅の購入地域が決まっている層（既に購入済の層を含む）の方が、住宅の購入地域が未定の層に比べ、ZEHについて【認知層】の割合が高かった。
* その他の地域間についても差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表1）

【図表1】









**2.　住宅の購入地域と、省エネ設備・ZEHの導入・検討状況の関係性**

**2-1　住宅の高断熱化工事について**

　住宅の購入（予定）地域別に、高断熱化工事の導入・検討状況、及び導入・検討にあたりネックとなったものについて、地域毎の差があるのかを検証する。大阪府域の区分は前述のとおり。

　導入・検討状況については、程度の差により以下の2通りに分類し、傾向を分析する。

（分類1）「導入した、または検討している」と回答した人を【導入済・現在検討中】、「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」「検討しなかった、検討していない」と回答した人を【導入予定なし】とする。

（分類2）「導入した、または検討している」「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」と回答した人を【検討した層】、「検討しなかった・検討していない」と回答した人を【検討しなかった層】とする。

分類1による分析

* 地域別では、大阪8地域において、泉南地域での住宅購入層の方が、大阪市内、三島地域での住宅購入層に比べ、高断熱化工事について【導入済・現在検討中】の割合が高かった。
* 住宅の購入地域が決まっている層の方が、住宅の購入地域が未定の層に比べ、高断熱化工事について【導入済・現在検討中】の割合が高かった。
* その他の地域間についても差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-1）

【図表2-1】









分類2による分析

* 地域別では、大阪府域の地域間で差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。
* 住宅の購入地域が決まっている層の方が、住宅の購入地域が未定の層に比べ、高断熱化工事について【検討した層】の割合が高かった。（図表2-2）

【図表2-2】









高断熱化工事を検討するにあたってのネック

* 地域別では、地域間に若干の差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。
* 住宅の購入地域が未定の層の方が、住宅の購入地域が決まっている層に比べ、高断熱化工事を「そもそも知らなかった」と回答した割合が高かった。（図表2-3）

【図表2-3】





**2-2　太陽光パネルの設置について**

住宅の購入（予定）地域別に、太陽光パネルの導入・検討状況、及び導入・検討にあたりネックとなったものについて、地域毎の差があるかを検証する。大阪府域の区分は前述のとおり。

導入・検討状況については、程度の差により以下の2通りに分類し、傾向を分析する。

（分類1）「導入した、または検討している」と回答した人を【導入済・現在検討中】、「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」「検討しなかった、検討していない」と回答した人を【導入予定なし】とする。

（分類2）「導入した、または検討している」「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」と回答した人を【検討した層】、「検討しなかった・検討していない」と回答した人を【検討しなかった層】とする。

分類1による分析

* 大阪4地域において、南部大阪地域での住宅購入層の方が、大阪市域、北部大阪地域での住宅購入層に比べ、【導入済・現在検討中】の割合が高かった。
* その他の地域別、住宅の購入地域の有無により割合に違いは見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-4）

【図表2-4】









分類2による分析

* 地域別では、大阪8地域において、泉南地域での住宅購入層の方が、大阪市内、三島地域、北河内地域での住宅購入層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* 南河内地域での住宅購入層の方が、北河内地域での住宅購入層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* また、大阪4地域において、南部大阪地域での住宅購入層の方が、大阪市域、北部大阪地域、東部大阪地域での住宅購入層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* 住宅の購入地域が未定の層の方が、住宅の購入地域が決まっている層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* その他の地域間についても割合に差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-5）

【図表2-5】









太陽光パネルの設置を検討するにあたってのネック

* 大阪4地域において、北部大阪地域での住宅購入層の方が、東部大阪地域、南部大阪地域での住宅購入層に比べ、「経済的メリットをあまりイメージできない」ことがネックとなっている割合が高かった。
* 南部大阪地域での住宅購入層の方が、北部大阪地域での住宅購入層に比べ、「費用が高い」ことがネックとなっている割合が高かった。
* 住宅の購入地域が未定の層の方が、住宅の購入地域が決まっている層に比べ、「そもそも知らなかった」がために検討段階に至っていない割合が高かった。（図表2-6）

【図表2-6】





**2-3　ZEHについて**

住宅の購入（予定）地域別に、ZEHの導入・検討状況、及び導入・検討にあたりネックとなったものについて、地域毎の差があるかを検証する。大阪府域の区分は前述のとおり。なお、ZEHの導入・検討状況については、ZEHの【認知層】593名を対象に調査を行った。

検討状況については、程度の差により以下の2通りに分類し、傾向を分析する。

（分類1）「導入した、または検討している」と回答した人を【導入済・現在検討中】、「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」「検討しなかった、検討していない」と回答した人を【導入予定なし】とする。

（分類2）「導入した、または検討している」「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」と回答した人を【検討した層】、「検討しなかった・検討していない」と　回答した人を【検討しなかった層】とする。

分類1による分析

* 地域別、及び住宅の購入地域の有無により差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-7）

【図表2-7】









分類2による分析

* 地域別では、大阪8地域において、大阪市内、三島地域での住宅購入層の方が、南河内地域での住宅購入層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* 大阪4地域において、大阪市域での住宅購入層の方が、南部大阪地域での住宅購入層に比べ、【検討した層】の割合が高かった。
* その他の地域間、及び住宅購入地域の有無による検討状況についても差は見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-8）

【図表2-8】









ZEHを検討するにあたってのネック

* 地域別、及び住宅の購入地域の有無により割合に違いは見られるものの、統計的に有意と言える程度ではなかった。（図表2-9）

【図表2-9】





**3.　ZEH導入のメリットに関する知識と導入・検討状況の関係性**

　ZEH導入のメリットに対する理解度により、ZEHの導入・検討状況に差があるかを検証する。なお、ZEHの導入・検討状況については、ZEH自体を「知っている」または「聞いたことがある」と回答した593名を対象に分析を行った。

　導入・検討状況については、程度の差により以下の2通りに分類し、傾向を分析する。

（分類1）「導入した、または検討している」と回答した人を【導入済・現在検討中】、「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」「検討しなかった、検討していない」と回答した人を【導入予定なし】とする。

（分類2）「導入した、または検討している」「かつては検討したが、導入しなかった・検討をやめた」と回答した人を【検討した層】、「検討しなかった・検討していない」と回答した人を【検討しなかった層】とする。

**3-1　メリットの認知と導入・検討状況について**

まず、ZEH導入のメリットを認知しているか否かにより、導入・検討状況に差があるかを検証する。ZEH自体を「知っている」または「聞いたことがある」と回答した人の中で、ZEH導入のメリットについて「一般的な家庭における具体的な効果を知っている」「何となく効果があることは知っている」と回答した人を【認知層】、「ZEHの導入にどのようなメリットがあるかは知らなかった」と回答した人を【非認知層】とする。

分類1による分析

* ZEH導入のメリットについて、【認知層】の方が【非認知層】に比べ、【導入済・現在検討中】の割合が高かった。（図表3-1）

【図表3-1】





分類2による分析

* ZEH導入のメリットについて、【認知層】の方が【非認知層】に比べ、【検討した層】の割合が高かった。（図表3-2）

【図表3-2】





**3-2　メリットの理解度と導入・検討状況について**

　3-1の分析における【認知層】の中でも、理解度の程度により、ZEHの導入・検討状況に差があるかを検証する。ZEH導入のメリットについて「一般的な家庭における具体的な効果を知っている」と回答した人を【具体的に理解】している層、「何となく効果があることは知っている」と回答した人を【何となく理解】している層とする。

分類1による分析

* ZEH導入のメリットについて、【具体的に理解】している層の方が【何となく理解】している層に比べ、【導入済・現在検討中】の割合が高かった。（図表3-3）

【図表3-3】





分類2による分析

* ZEH導入のメリットについて、【具体的に理解】している層の方が、【何となく理解】している層に比べ、【検討した層】の割合が高い。（図表3-4）

【図表3-4】





**（参考）4.　新築住宅の地域特性について**

2-1や2-2にて、高断熱化工事や太陽光パネルの導入・検討状況が、南河内地域や泉南地域などの南部大阪地域で高い傾向にあったことから、地域毎の、回答者の偏りや新築一戸建て住宅の特徴について追加分析を行った。「未定」や「分からない」と回答した層は、分析から除いた。

* 世帯年収では、豊能地域は、大阪市内や中河内、南河内、泉北地域と比べ、900万円以上の高所得者の割合が高い。大阪4地域でも、北部大阪地域の方が、南部大阪地域に比べ、900万円以上の高所得者の割合が高かったものの、省エネ設備やZEHの導入・検討状況に見られる地域差との関係性は見出せなかった。（図表4-1）
* 購入状況について、過去5年のうちに既に住宅を購入している層は、中河内・南河内・泉北地域に多く、大阪市内・豊能地域に少なかった。大阪4地域でも、東部・南部大阪地域に多く、大阪市域に少ないという偏りが見られた。住宅の購入時期が未定の層は、大阪市内・豊能・三島・北河内地域に多く、中河内・南河内地域に少なかった。大阪4地域でも、大阪市域に多く、南部大阪地域に少ないという偏りが見られた。5年以内に購入予定の層には、地域間で大きな差は見られなかった。（図表4-2）
* 物件価格については、世帯年収の高い豊能地域において、中河内、南河内、泉北地域と比べ、4,000万円以上の高額物件を購入する割合が高いことが分かった。大阪4地域でも同様の傾向が見られ、北部大阪地域の方が、東部大阪地域や南部大阪地域に比べ、4,000万円以上の高額物件を購入する割合が高く、世帯年収と物件価格には関係性があると考えられる。（図表4-3）
* 建物についても、高額物件を購入する割合の高い北部大阪地域の方が、大阪市域や南部大阪地域に比べ、お金をかける人の割合が高かった。（図表4-4）総じて、物件価格や建物価格の地域差と、省エネ設備やZEHの導入・検討状況に見られる地域との関係性は見出せなかった。
* 建築面積については、南河内、泉北、泉南地域といった南部大阪地域の方が、他地域に比べ、30坪以上の住宅を購入する割合が高く、中でも泉南地域は、他地域に比べその傾向が強いと言える。（図表4-5）
* 土地の取得状況については、泉北地域と泉南地域に差が見られた程度であった。（図表4-6）
* 住宅の購入形態については、豊能地域や中河内地域、泉南地域において、大阪市内よりも注文住宅を選択する人の割合が高かった。南部大阪地域の中でも、とりわけ泉南地域において注文住宅を選択する人の割合が高い傾向にあった。大阪4地域においても、大阪市域は他地域に比べ、注文住宅を選択する人の割合が低かった。（図表4-7）
* 最後に、購入住宅の階数においては、他地域に比べて大阪市内の方が、3階建て以上の高階層住宅を購入する割合が高かった。（図表4-8）

【図表4-1　世帯年収】



【図表4-2　購入状況】



【図表4-3　物件価格】



【図表4-4　建物価格】



【図表4-5　建築面積】



【図表4-6　土地部分の取得状況】



【図表4-7　購入形態】



【図表4-8　階数】

